

那覇～名護間を 1時間で結ぶ 鉄軌道の導入 に向けて

沖縄鉄軌道に関する



あなたのご意見を お聞かせください!

募集期間：平成27年5月中旬～6月上旬

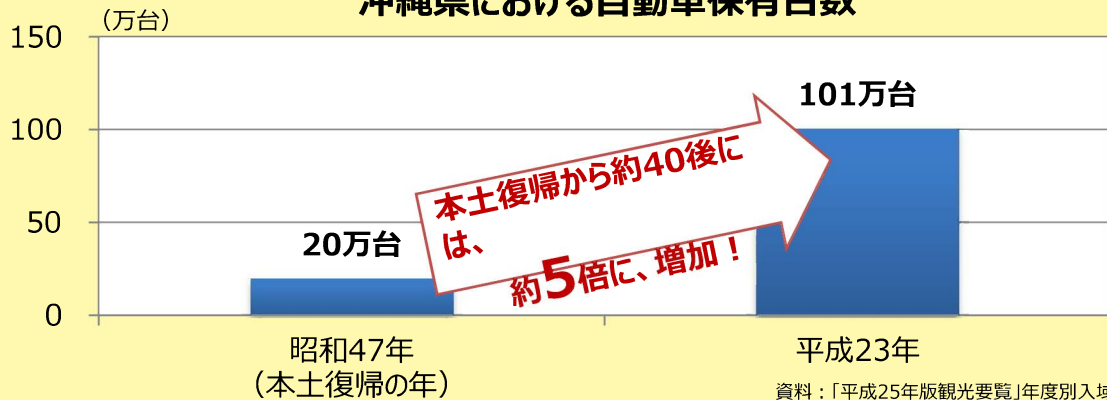
沖縄鉄軌道検討に関するアンケートにご協力ください。



自動車数 増加 バス利用者数の減少！

- 本土復帰以降、自動車数は増加し、当時の5倍になっています。
- 観光客も年々増加し、レンタカーの台数も平成15年の2倍以上となっています。
- 一方、バス利用者（輸送人員）は、昭和60年以降減少の一途であり、3分の1まで減少しています。

沖縄県における自動車保有台数



レンタカー許可車両数 (年度)



バス輸送人員

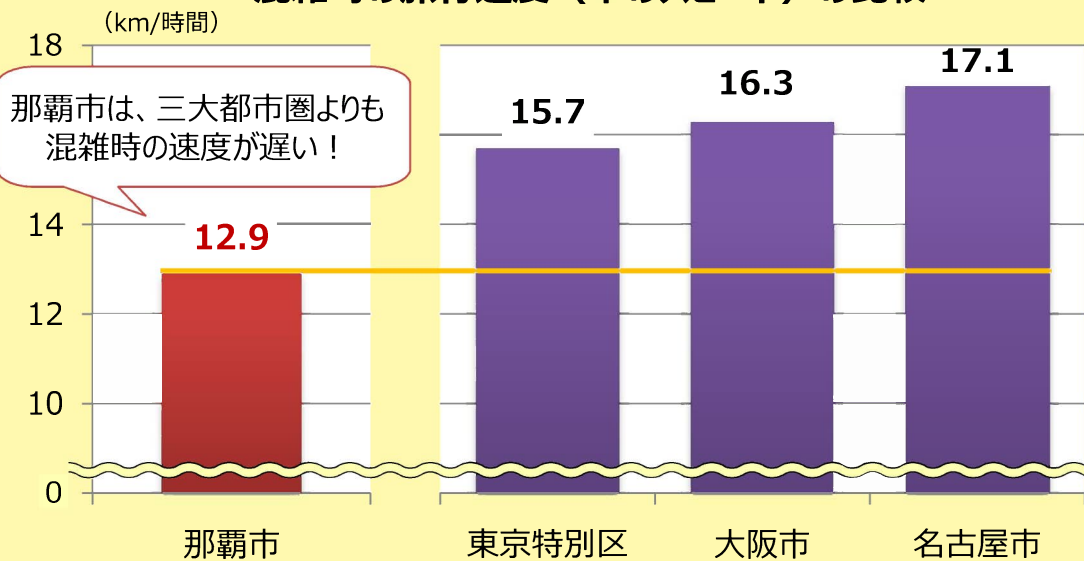


慢性的な渋滞

- 那覇市における一般道路(高速道路は含みません)の平均的な速度は、東京23区や大阪市、名古屋市と比べて遅いです。



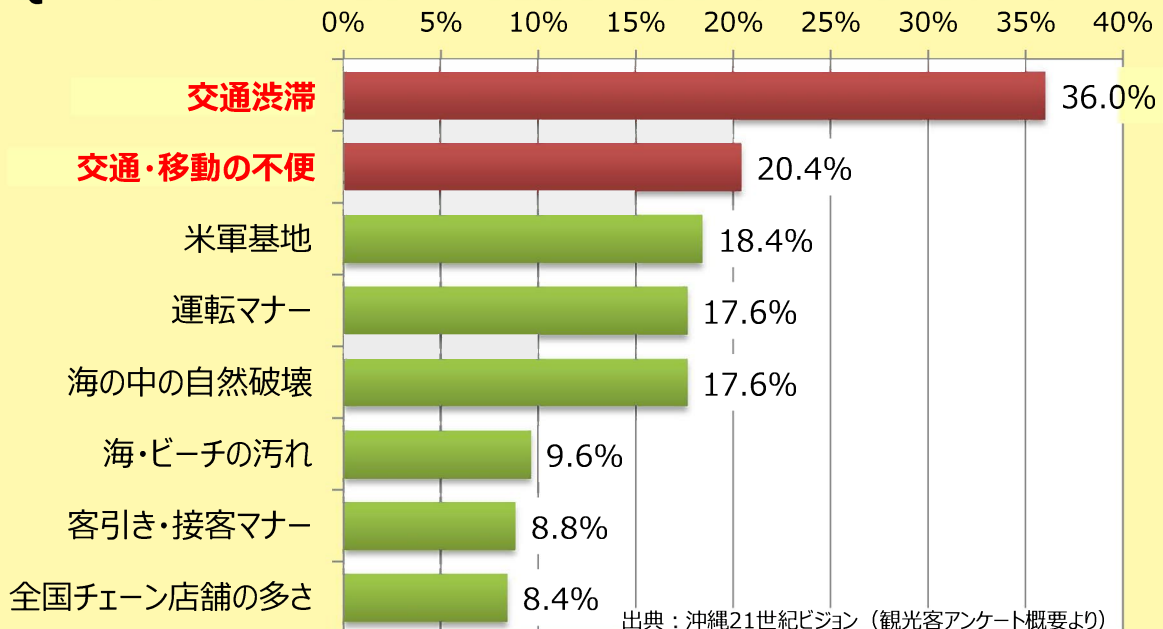
混雑時の旅行速度(車のスピード)の比較



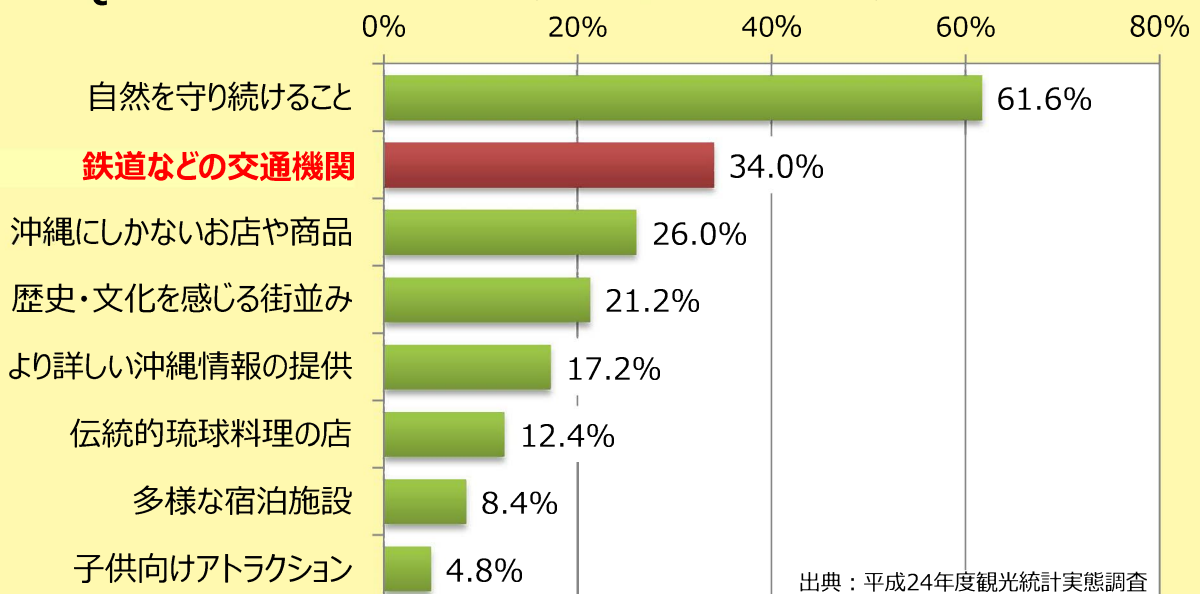
観光客から求められる 交通環境の改善！

- 観光客の声より、「交通渋滞」及び「交通の移動の不便さ」が求められています。
- また、鉄道などの交通機関を求める意見も約3割あります。
- 観光客は交通渋滞や交通・移動の不便さの改善を求めています。

Q 改善した方が良くと思うのはどんなことですか。(3つまで選択可)



Q 沖縄をもっと魅力的にするために必要なものは何だと思えますか



那覇 名護間の 公共交通の状況！

- 公共交通（バス）での那覇と名護間の移動は、時間や運賃の負担が大きく通学や通勤には大きな負担となっています。

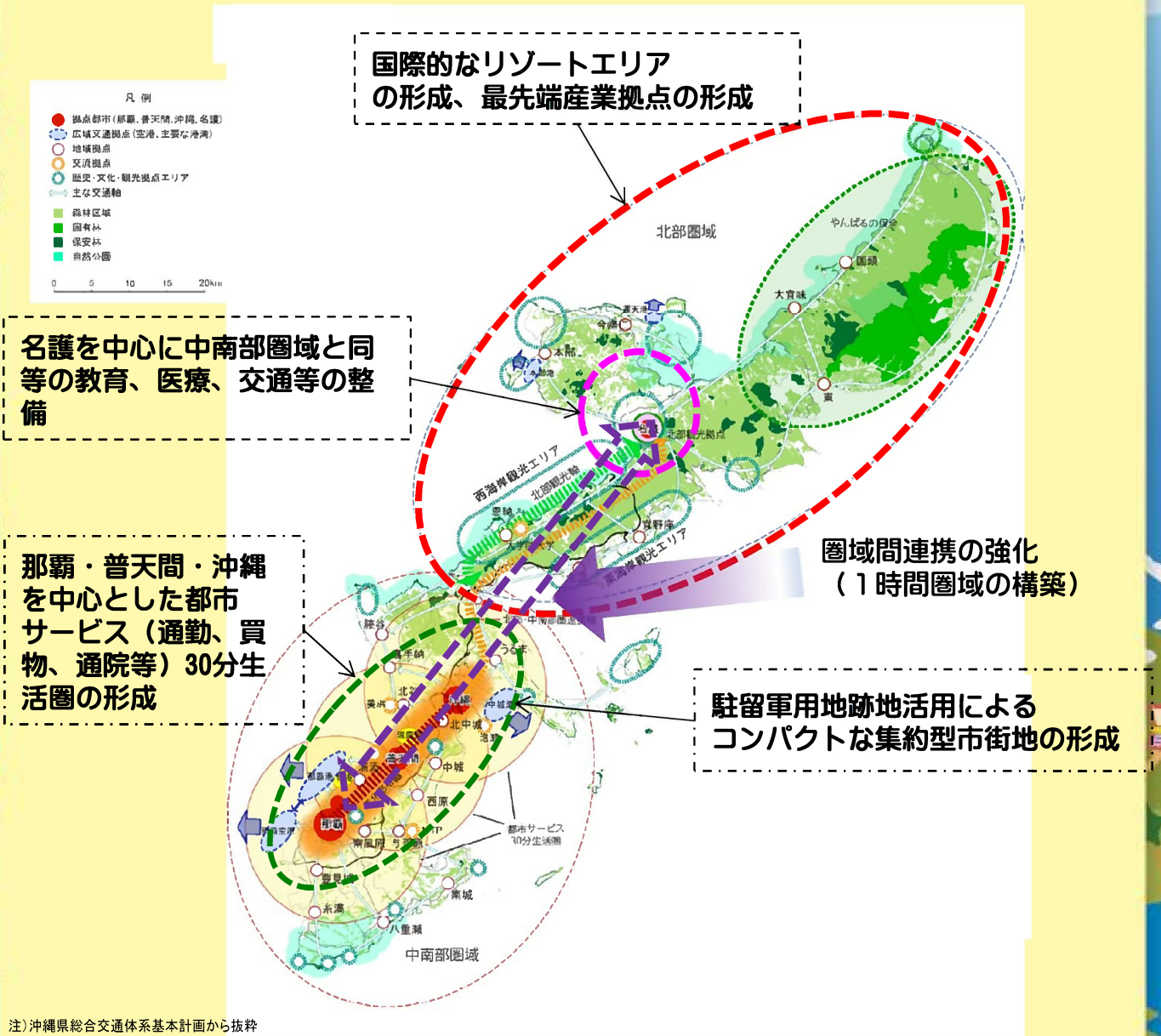
現況の那覇-名護間公共交通のサービスレベル

那覇－名護	高速バス	路線バス（120番）
所要時間	約1時間30分	2時間40分～3時間
運賃	2,100円	1,900円
運行時間 (出発時間)	朝5時台 ～夕方6時台	朝5時台 ～夕方8時頃まで
運行本数	時間当たり1本～2本	時間当たり2本、 ピーク時は3本

将来のあるべき姿

- 沖縄本島の将来のあるべき姿(陸上交通のみ)については、「沖縄県総合交通体系基本計画」において、以下のように示されています。

※「沖縄県総合交通体系基本計画」は、沖縄21世紀ビジョンを踏まえ、平成22年度から23年度にかけて、専門家、関係業界団体、市町村代表、利用者代表、行政機関から構成される委員会や、県民等の意見募集(パブリック・コメント)を通して検討され、平成24年6月に策定・公表されています。

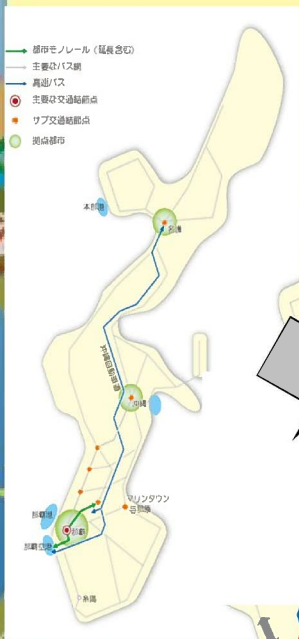


将来のあるべき姿を実現するための対策イメージ

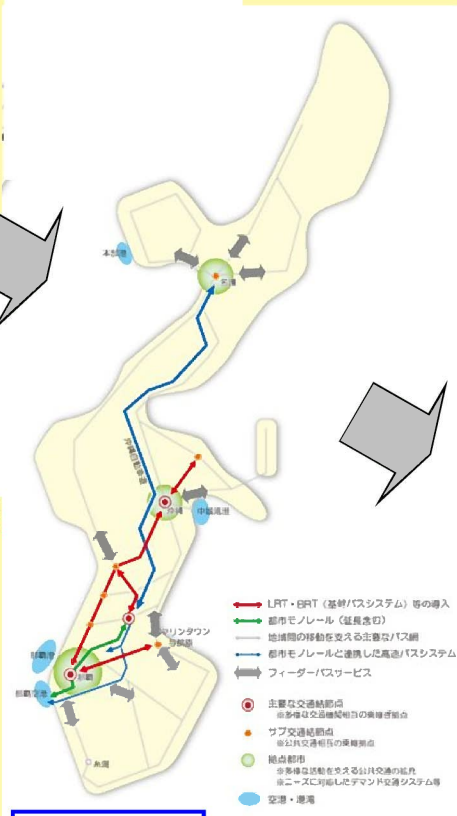
- 「沖縄県総合交通体系基本計画」では、将来のあるべき姿を実現するため以下のような短・中、長期の対策(施策)のイメージが示されています。

長期的な対策として、

- 拠点間を連絡する鉄軌道の導入
- 鉄軌道と一体的にサービスするフィーダー交通の導入が計画に位置づけられています。

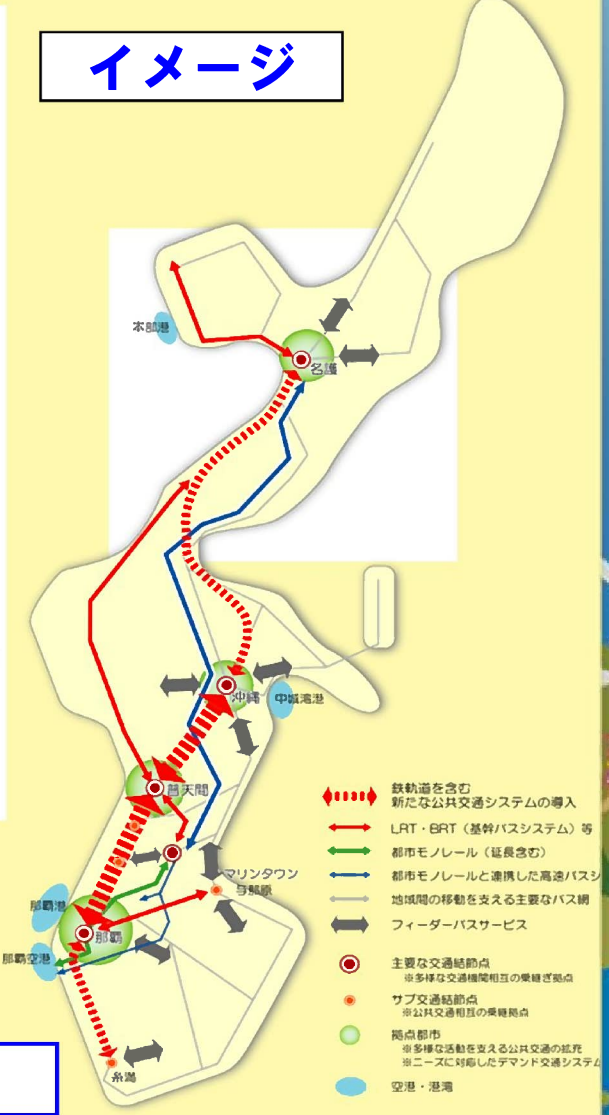


現状



短・中期

イメージ

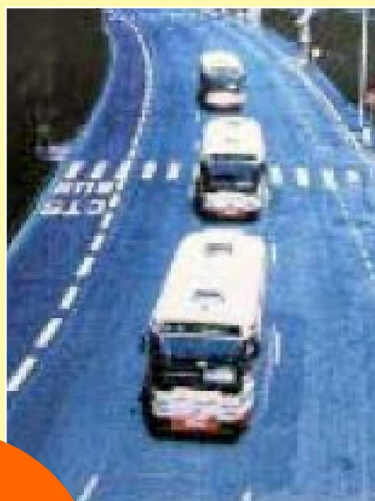
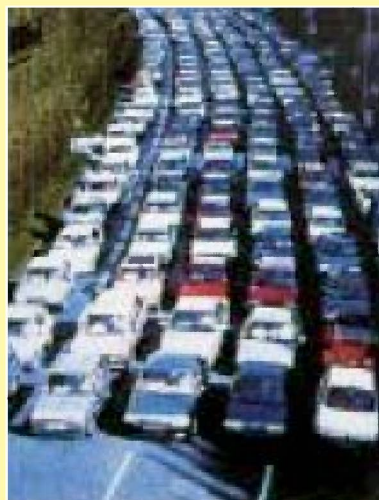


長期

みんながマイカー利用から公共交通利用へ転換したら？

- 自動車で移動する人が、仮に公共交通に乗り換えれば、道路混雑の緩和が期待されます（下はイメージ）。

～ 道路空間面積の対比 ～



同じ人数を自動車、路線バス、鉄軌道で運んだ場合のイメージです。



路線バスでは
3台



鉄軌道では
1台

公共交通で効率的に運ぶことで、渋滞の緩和が期待できます。

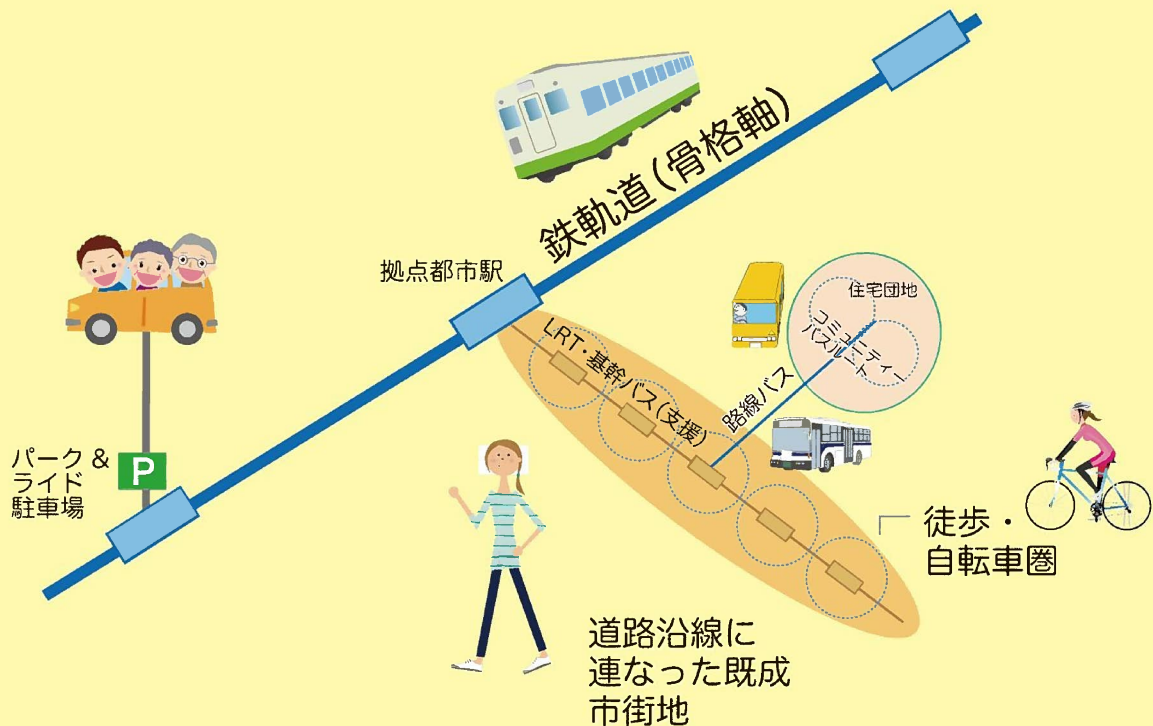
利便性の高い公共交通ネットワークが構築されたら？

- 鉄軌道を基軸にバスや自動車等と連携することで、時間通りに到着し出発できる、目的地までの移動時間が予測できるなど、定時制が確保された移動環境が生まれます。

公共交通ネットワークの構築

- ◆ まちなかの賑わいの場創出
- ◆ 高齢者の外出機会の増加
- ◆ 観光客の移動範囲拡大
- ◆ 歩く機会の増加と肥満防止・健康増進

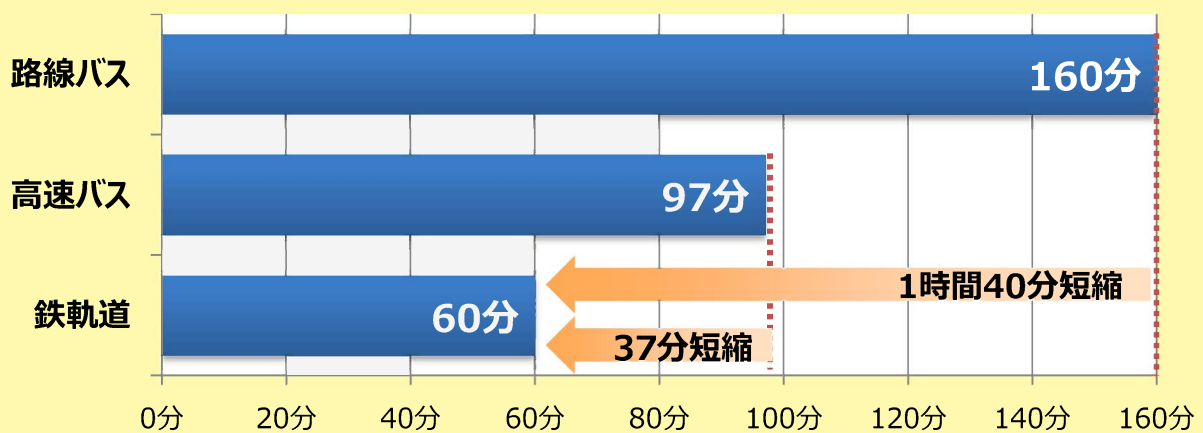
～ 体系的なネットワークイメージ ～



公共交通で那覇と名護を 1時間で移動できたら？

- 那覇～名護の間に鉄道が整備された場合、両市間の所要時間と運賃は、通勤・通学が可能な水準となります。

那覇－名護間の公共交通による所要時間



移動時間短縮

- ・路線バスでは約2時間40分
- ・高速バスでは約1時間30分かかります
- ・鉄軌道では1時間での移動も可能です。



1時間で移動できると・・・

- ・通勤・通学できる範囲が拡大
- ・北部圏域の活性化
- ・交流人口の増加 などに期待。

かつて沖縄に鉄道があったことをご存じですか？

● 沖縄県軽便鉄道

- 沖縄県軽便鉄道（県営鉄道）は、今から100年前（大正3年）年に那覇～与那原間が開業、その後開業した那覇～嘉手納間（大正9年開業）、那覇～糸満間（大正12年開業）の3線の総延長は約48キロメートルで営業されていました。
- 乗客数は開業当初（大正4年度）は約43万人でしたが、昭和16年度には300万人超の利用がありました。しかし、戦災のために壊滅しました。



沖縄県軽便鉄道20周年記念列車



沖縄県営鉄道の那覇駅

**みなさまの声を今後の検討
に反映させていただくため
備えつけのアンケートに
ご協力をお願いします**

- 平成27年1月6日の第2回プロセス運営委員会で計画案づくりの「進め方」が承認され、今回行っている計画案づくりのステップ2に移行しました。
- 4月に検討委員会とプロセス運営委員会を開催し、ステップ2の内容について審議し、その結果について、みなさまからご意見を募集しているところです。

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちらへ！

〒900-8570沖縄県那覇市泉崎1-2-2
沖縄県企画部交通政策課

電話：098-866-2045 FAX：098-866-2448

メールアドレス：info@oki-tetsukidou-pi.com

ホームページ：<http://www.oki-tetsukidou-pi.com>

沖縄 鉄軌道 検索